自立支援型ケアマネジメント会議

自立支援型ケアマネジメント会議って何？

自立支援型ケアマネジメント会議では、介護保険の基本に立ち返り「利用者の自立とそのための支援」という観点から「利用者がやりたいことを不安なくやっていける」「自分の送りたい生活を安心して送れる」「利用者ができることを広げていく」ような状態を目指していきます。

利用者の「やりたいこと」「送りたい生活」のための支援に行き詰まっているケース、やろうとしている支援がうまく導入できないケースなどについて、リハビリテーション専門職、栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師・看護師等の多職種とともに、行き詰まりの原因の分析、解決法やアプローチの工夫、他に考えられる問題点などについて検討し、自立支援に資するケアマネジメント、よりよい支援が提供されることを、皆で目指していきます。

市では東部、西部で月１回、１回に２事例の事例検討を行っています。また、年 2 回、事例検討や研修等の内容で、振り返りの会を行っています。

どんな事例が対象？

要支援者等の比較的軽度の方を対象としています。

要支援１・２又は事業対象者であって、生活不活発な状況がみられ、自立支援に資するケアマネジメントにより、生活機能の改善が見込まれる事例とします。

ただし、権利擁護等の支援が必要な複合多問題ケースや認知症等の進行性疾患、終末期のケア等が必要なケースは含みません。

事例提供者の声（今までに事例提供していただいた方の声を集めました）

- 事例提供して良かった。
- 事前打ち合わせの段階から気づきがあり、再アセスメントする機会になった。
- 事例提供をきっかけに、利用者とのやり取りが増し、関係性が良くなった。
- 会議参加前はダメだしされるのだろうと不安だったが、会議は温かみのある助言でたくさんの気づきが得られた。
- 利用者の生活課題を掘り下げて考える貴重な経験となった。　　など